

高齢者の連携で史上初の「日本長寿社会」を達成する

[丈風の会]の活動趣意と指針「老中八策」

◎活動趣意



☆「人生90（65+25）年」という長寿は、祖父母・父母たちが前世紀に平和を守りながら努めて得た成果であり、今世紀を生きる子・孫たちにとっては実現すべき課題です。ふたつの世紀をつなぐわたしたちは、「すべての世代のための社会」を形成しながら高齢期を過ごすこととなります。

☆4人にひとりに達した高齢者（65歳以上）のだれもが持つ成熟+円熟した生活感性を萎縮（デフレーション）させる

ことなく、みんなが安心して過ごせる共生・共助の「地域生活圏」をこしらえること。

☆これまでに培ってきた「健康・知識・技術」（体・志・行）そして資産や人脈を活かして、これまでになかった「モノ・サービス・居場所」やしくみを創り出すこと。わたしの場合は経験を活かしてweb「月刊丈風」という情報拠点を定めて、烽火をあげました。

☆「丈風の会」は大丈夫（丈人）の風格・気概をもって生きる人びとみんなの居場所です。

これまでは「人生65年」=2世代（青少年+中年）+α（高年）型 「引退余生」社会

これからは「人生90年」=3世代（青少年+中年+高年）多重量型 「現役長生」社会

◎「老中八策」 「尊厳」ある高齢期を送る指針はここから！ ひとつずつ

- 一 六五歳から九〇歳までの二五年を他力依存でなく過ごすため「自立意識」を確立中
- 二 「引退余生」でなく「現役長生」で社会参加を続けながら「高齢期人生」を実現中
- 三 培ってきた知能技能を活かして高齢期の暮らしを豊かにする「優れモノ」を制作中
- 四 体（≧病気） 志（≧認知症） 行（≧介護） 三つのバランスで「包括ケア」を体現中
- 五 「三世代（青少年～三〇歳 中年～六〇歳 高年～九〇歳+）現役型」社会を創出中
- 六 日また一日欠かさずに出て「地域生活圏」（「助け合い」の文化）の形成に参加中
- 七 高齢者がつどう「居場所」でそれぞれの自己目標をみんなで論じて解決策を協議中
- 八 水玉模様のような小さな会に加わり各地各界の仲間同士と成果を分け合って連携中

注：「自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」（高齢者五原則）は国連が提唱する国際的指針。

丈風の会 2015・1・1+9・15

[丈風の会]

堀内正範 高齢化問題ジャーナリスト 朝日新聞社社友（元『知恵蔵』編集長）

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 9 3 4 0 - 8

Tel & Fax 0475-42-5673 web「月刊丈風」編集人

e-mail mhori888@ybb.ne.jp

web「月刊丈風」「丈風の会」<http://jojin.jp/>

blog「らうんじ・茶王樹・南九十九里から」

<http://myhp.ne.jp/chaoju/lounge>

*****ぜひご連絡ください。お仲間に転送をお願いします



「丈風の会」 会員情報

2015・1・1+9・15

「吾聞、富貴者送人以財、仁人者送人以言」（老子のことば『史記』より）

吾れ聞く、富貴なる者は人に送るに財を以ってし、仁人なる者は人に送るに言を以ってす

◎三大目標

- ① 4人に1人の高齢者の社会活動を担当する専任職員、専任部課、「専任大臣」の設置
- ② アベノミクス（女性と若者経済）に加えて「エイジノミクス」（高齢者経済）の創出
- ③ 国際的な先行成功モデルとして、すべての世代が参加する「日本長寿社会」を達成

◎活動の細目



- ① 高齢者の暮らしと社会活動を支え合う情報誌 web「月刊丈風」の発行
- ② 人生90年を上手に享受する生き方を見出す「丈風セミナー」の開催
- ③ 高齢期の暮らしを豊かにする「モノ・サービス・居場所・まち」の創出
- ④ 生きがいとまちづくりの知識・技術を習得する「地域大学校」の推進
- ⑤ 地域協議体や生活支援コーディネーターと協働する「丈風の会」の形成

「丈風の会」 活動を確立するためご参加ご支援ください。ぜひ！

- ◎1 「月刊丈風」 ぜひ購読支援会員に。
1-0 送付不要 1-1 参考に送付（無料） 1-2 賛同メンバーに転送
1-3 購読支援会員。野口英世幣3（「月刊丈風」購読料3年を含む）
- ◎2 「丈風の会」 ぜひ活動参加会員に。樋口一葉幣1（「月刊丈風」購読料を含む）
2-1 モノ・サービス・居場所・起業・大学校・まちづくり活動への参加と支援
ともに考える「丈風セミナー」を共同開催
2-2 テーマ「人生90年時代を上手に生きる」・「地域生活圏づくり」
受講料1コインで人生が変わる。約120分。セミナー資料は講演者が用意。
収益は主催者・講演者が均等に活動資金に。公的機関の場合は主催者の事情で。
- ◎3 「丈風の会」の活動に賛同し寄付 永続会員に。
3-1 活動に賛同し寄付。福沢諭吉幣+。活動を見守ってください。ぜひとも。

購読支援・活動参加（寄付）費の 振り込み先 は未表示にいたします。

***** 各地各界からのみなさんの参加で「衆口一詞」の拠点を*

[丈風の会名簿]

2015年 月 日記入

お名前

生年月日・生地（自治体）

専門知識技術・所属団体

住所 〒

Tel & Fax E-mail

写真をどうぞ →

上欄◎印ナンバーを記入[◎]しメール mhori888@ybb.ne.jp か Fax 0475-42-5673 で。



***** 情報は本名簿以外に用いることはありません*